



今月は

三角町八柳のむかし話

いづみんぐり

後世に残そう。
地域に伝わる
おとぎ話の世界。

今はむかし、三角の八柳に鉄砲名人の高瀬新之丞が住んでいました。八柳の村人たちは皆、働き者で仲良く暮らしていましたが、村人たちには悩みが一つ。それは、新之丞がいなくて盗賊が悪さをすること。これを聞いた新之丞は、鉄砲を持って物陰へ。何も知らない盗賊は何やらごじゃごじゃ言いながら里へ降りて来ていつものように「新之丞さんはおんなるか」と村人に尋ね始めました。すると、新之丞が「やい悪党」と鉄砲をズドンと一発。どういうわけか天気も急変し、激しい雷雨に…。嵐が静まると、そこには数百年生きたであろう古狸が倒れていました。それから何事もなく、八柳には平和が戻りましたとさ。

イラスト／村上明日香
(不知火美術館 学芸員)

あき家対策 おうちくん・バンクくん・わたしの

まちがいさがし



7つのまちがいをみつけてね。答えは35ページ。

市民投票

あなたは2022

クリスマス派 165票 39%

大みそか派 259票 61%

ちなみに 選ばない! 57票

PICK UP

大みそか

正月に孫たちが帰ってくるので、おせちの準備をしながら待っているのが楽しみ♪

田口 公子さん (72)
— 三角町 —

雪が積もったら何をする?
「雪合戦派 / 雪だるまづくり派」
回答は市公式LINEやメール、お便りです。
回答期限 12/10金

市公式 LINE

儚さを想い描く

トントントン。無数の小さなドットが重なり、絵に奥行きが生まれていく。ペンを持つのは「緋紺とき」こと、石山瞳さん。

三角町を拠点に活動する画家だ。「幼い頃から描くことは日常の一部でした。悲しいことがあっても描き終える頃には不思議と元氣になります。イチゴのROBERRYは14年ほど書き続

けているキャラクター。さまざまな感情を投影すると、何とも言えない表情に仕上がります。」画家になって2年目。依頼を受けて描くことも多くなった。「自由に描くよりも時間がかりますが、相手を想うイメージが湧いてきます。自分のために描き始めた絵ですが、誰かを元気づけられる存在になったらうれしいですね。」

石山さんはそっとほほ笑んだ。



あまとき堂
三角町前越



1・2 制作はアトリエで一心不乱に
3 三角町の秘密の隠れ家 Amour de fleurs と作る小物

うきもよう

市内の“あれこれ”をご紹介します

UKI AROMA



宇城市産の柑橘の皮を手作業で丁寧にむいて抽出した精油を使って、アロマ雑貨「UKI AROMA」を作っています。



地域おこし協力隊
宮川 瑞代 さん

ふわりと香るアロマシール

マスク生活にほっとする時間を届けられたらと考え、くまモン柄のアロマシールを制作しました。宇城の自然と農家さんが育んだ柑橘から作った精油と他の天然精油をブレンドして優しい香りに仕上げています。



香りは3種類
オレンジ ミント
orange/mint/
flower



見た！聞いた！
地域の魅力再発見！

広報特派員や
地域おこし協力隊が
市内で起きた出来事を
伝えます。